工程で多くの不具合や要求間違いがの劣化が進むことになる。結果、後えられることになり、ソースコード

の間に変更箇所の十分限りコーディングエ程である[1][2]。×DG派生開発に特化した関

X D D P 上程を遅らせ、 DDPは、でき

Application of XDDP to the Car Navigation

World Congress

Process Improvement Using XDDP

【ステップ6】未知の恐怖感を克服する

第6階層目

ファシリ 対応するス 害の克服方法に合意する

用がないことに合意する

】解決策の実行を妨げる障洗出し、対策を検討した。

【ステップ4】解決策により重大な副作 メント(変更3点セット)」 ディングの留保」が30を、

[∽]K. Kobata, E. Nakai and T. Tsuda

[2]清水吉男、

「派生開発」を成功 失敗しない派生開

(Software People vol.∞)、技術評論

1]清水吉男、

発しなければならない。

小手先の改変が加

ト全体や機能全体の動きを理

部の情報のみで

、派生開発には、「短納イクルの短期化といった開発」と呼んでいる。製

った開発が行われていを一部切り出しての移

発では、このような開行われている。特に組

能だけ

製品ソー

植・流

とは株式会社システムクリエイツ

の大幅な減少や工数を削減できることが可能になり、実際に不具合

解決策により重大な副作用がない ことに合意する

XDDPで解消できる。

が 05 を、

「変更用ドキュ

「変更用 が 02 を

_ 03 コ 、 | 05

【ステップ5】 解決策の実行を妨げる障害を克服する方法に合意する

納期も守りながら品質も維持する

がなくなるため

X D D P

【ステップ3】解決策で問題が解決されス・ドキュメントが用意されている。

ィングを留保し、

ユーを徹底実施す 変更用のブ

とが要因となって

いる。 XDDP

存製品のソ

ほとんどなく、

へが派生開発の実情に適していな、の現場で行われている開発プロこのような派生開発の問題は、..

変更用ドキュメント

思い込みで変更するため、

のやる気が低下する」という問題を フト品質が劣化する」や「⑺:開発者

)が用意されてい

派生開発しなけれ は以下である。

XDDPが想定して

ければならない」とい「01:非常に短納期で想定している問題構造 への精査を担当者任せ「02:(納期が怖いの

を見付け次等すぐに DDPは、変更箇所 DDPは、変更箇所 を見が知られてい をする方法としてX な従来とは異なるパDDPは、このよう (変更3点セッ の間に変更に特 用いて十分な きる限りコーデ たドキュメン う方法は取らず、 ーディングすると を実施す 程を遅らせ 問題を解

表1 変化に対する「抵抗の6階層」

抵抗の6階層

- 解決策の方向性に合意できない
- 4 解決策を実行すると副作用が生じる 5
- 解決策の実行を妨げる障害がある
 - 未知のことへの恐怖感がある

の6階層」に対応するステップで提アオファーシートは、前述の「抵抗

に間に合わないことが多い」ことに るため、「04.ささいな変更でも納期

もっと早

く実装を開始しなければならないと

は、「5:開発ブ

ト」を作成した(図1:外観)。マフィ

の各要素が作業増加の印象を与え ・変更プロセスといったXDD

> 【第3階層】 とが多々発生する。 題では各人の所属部門

|解決策が問題を解決する

変化の提案を関係者に受け入れても

イムシフトのような大きな

解決策の方向

性に抵抗を示すこ

提案され

抗を受けやすい。一方、人の変化への抵抗は6つの階層が ゚徹底する方法である。そのため、従来かできる限りコーディングを留保して、変 オファーという方法が抵抗は6つの階層があ、導入提案で大きな抵

ある。

!各人の所属部門の利益を優先特に複数の部門が関係する問

8月22日 8月23日

八木将計

根深い場合が多く、抵抗の最初の跛「問題ではない」という意識は強くも素直に認めることはできない。 表 のを他者から指摘されて

で別々の問題認識をしている場合、 で別々の問題認識をしている場合、 層として位置付けられる。関係者間 根深い場合が多く、抵抗の最初の階 難である。

いての意見の相違に足因するものでに発生する抵抗は、解決の方向につに発生する抵抗は、解決の方向について合意を得た次きない 【第2階層】解決策の方向性に合意で 由となる。例えば、「実行すると効予想できる副作用も抵抗の大きな理予想できる副作用も抵抗の大きな理解決策の実行によって発生すると 用が生じる 【第4階層】解決策を実行すると副作 害がある

怖心に起因する抵抗である。 「実行すると何が起こるかわからな怖心に起因する抵抗である。例えば からやらない」といったものであ 持つ本能的な「変化

解決そのものも実行困

ルがあってで……、「社内ルーする。「技術力がない」「社内ルーする。「技術力がない」「社内ルールを行を阻害する障害の懸念が発生ルがあって、次 【第5階層】解決策の実行を妨げる障 、第6階層】未知のことへの恐怖感があ 「実行するとエ

では解決できない」といった類いのる。「ウチは特別だから、その方法るかという疑問に起因する抵抗であるかという疑問に起因する抵抗であ 多い」。手戻りは想定外の作業であ「33:後工程にデグレなどの手戻りが ルが「マフィアオファー

確認することで、問題に合意する。めている。これら質問に合致するか 【ステップ2】解決策の方向性に合意す 従来の手法では、「納期遵守」

でもできる限り全体理解に近づける解」という状況を受け入れ、その中う。一方、XDDPは、「部分理さした問題構造の状態になってしま の変更箇所を見つけ次第変更 「部分理解」でソ

と思いますた 入の動機付 全体の87%と高 実施 的な対応策を説明したりとい 懸念事項を挙げてもらってから典型題を解決するロジックを説明したり のステップまで合意できたかを確 造に関する質問に回答してもらって 「非常にそう思う」 した。提案対象者は開発者を中 XDDPに関する質問とど 「XDDPをやってみたい ×DDP導入提案を試 か?」の質問に対して、 い確率 で X D D P 性やXDDPが問 「そう思う」 提案対象者

アオファーを体系的にまとめたツー フィアオファー」いい、このマフィ番に抵抗を解消していく方法を「マい理由がなくなる、この6階層の順

16 12 ■そう思う 子 8 8 6 □そう思わない W.SHIM THE APPLE A

「XDDPをやってみたいと思いますか?」の回答と 解消できた抵抗の階層の関係

案にお 四晃による2013年度の研究成果で八木将計、奥山麻美、佐津川勝彦、須八木将計、奥山麻美、佐津川勝彦、須(AFFORDD)第 1 研究会(メンバー: 層の解消状況とXDDPの導入の動ることができた。また、抵抗の6階 よう」という導入の動機付けを与え 87%の対 DP導入提案を行なったところ、 の抵抗を解消するマフィアオファ 付けの関係性から、 報告内容は、派生開発推進協議 トを作成した。このマフィアオ いて効果があることを示したシートは、XDDPの導入提 シートを用いて、実際に×D 象者に「XDDPやってみ

にそう思う」「そう思う」と回 ない」と回答している対 いと思います プで合意できており、 の全ステップで合意すること 数ではあるが「そう思わ その トの

つ事例を (1)の3つの **作成手順(2)** 作成手順(2) 作成手順(2) 作成手順(3) 作成手順(3) 作成手順(1)

3つの困り事と提案

様に重大な問題も質問形式で以大な問題を因果関係で継ぐ。 この質問を「重大質問」 応)。

ルとして、XDDPに対する6階層 XDDPの導入提案のためのツ